

令和 6年度

## 第1回 楽家・らくや運営推進会議報告書

事業所名 小規模多機能型居宅介護 楽家  
グループホーム らくや  
事業所種別 小規模多機能型居宅介護 認知症対応型共同生活介護

- 1、開催日 令和 6年 4月 17日 (水)
- 2、開催時間 午後 13時30分 ~ 14時40分
- 3、開催場所 らくやコミュニティホール
- 4、出席者

森田地区代表	5人	包括支援センター	1人
上野地区民生委員	1人	家族代表	1人
理事長	1人	事務長	1人
介護支援専門員	1人		

### 5、事務長挨拶

お忙しい中、ご参加頂き有難うございます。  
日頃から、皆様には色々お世話になっております。  
本日も、ご指導お願い致します。

### 6、サービス提供報告（別紙参照）

#### ★小規模

- ・ 2月、3月と1名ずつ、新規利用開始されました。
- ・ 2/10～入院されておられた方が、3/23退院され、楽家に戻って来られました。

#### ★グループホーム

入居者に変更はありません。

気候も良くなり、面会や外出が増えました。  
感染予防は十分に行って頂けるようお願いしています。

#### ★ヒヤリハット、事故報告の内容報告行う。

## 7、活動報告（別紙参照）

- ・活動状況の写真回覧。

### ≪小規模≫

- ・節分祭では、赤鬼、青鬼に扮した職員に、「鬼は外！福は内！」とおじゃみを元気に投げつけておられ、大盛り上がりでした。  
その後、フォークダンスのマイムマイムで大盛り上がりされていました。
- ・ひな祭りでは 皆様に男雛・女雛になって頂き、記念撮影をしました。  
その後、ちらし寿司とケーキ、ひなあられを頂きました。
- ・お彼岸は、毎年恒例のぼたもちに、皆さん喜ばれていました。
- ・今回は2名の方がお誕生日を迎えられ、お祝いしました。
- ・永平寺の和尚さんに来て頂き、法話を真剣に聞いておられました。

### ★「楽家に来ると、職員が色々考えてくれて楽しませてくれる」

「来るのが楽しい」と、利用者の方から嬉しい言葉を頂いています。

### ≪グループホーム≫

- ・節分祭では、鬼の面をかぶり、紅白玉を思いっきり鬼にぶつけていました。  
その後、パンケーキにみかんジャムをかけて、美味しく召しあがって頂きました。
- ・ひな祭りでは、顔にパックをして、今流行りのウィッグをつけてみました。  
皆さん、若返ったと喜んでおられました。
- ・お彼岸には、入居者の皆様にぼたもちを作って頂きました。
- ・永平寺の和尚さんの法話を、涙を流しながら聞かれている方もおられました。
- ・北陸新幹線開通記念行事のブルーインパルスを見学しました。  
「すごい～」と感激されていました。

### ★職員が摘んできた、フキノトウ、コゴミ、セリ、ヨモギ等の盛りだくさんの

春の山菜の天ぷらに、大感激されていました。

職員が入居者の方のために、休みの日に取りに行ってくれることに感謝しています。

又、毎日のレクリエーションでは、ゲームやクイズなどで盛り上がり、元気な声が響き渡っています。

## 8、地域交流報告

- ・上野デイ … 2/20 (火)  
グループホームの方も参加し、地域の方と交流を持つことができた事報告する。
- ・他の事業所はどのような活動をされているのですか。 (楽家 管理者)
- ・前回のアルプさんは、便秘や脂質異常の話がされていて、体操等の活動はありませんでした。 (民生委員)
- ・もりたんバスでエルパまで行けるコースができたので、みんなで乗ろうという企画をしました。  
12時頃に出発し、14時半に帰るバスがあるので、手ごろな感じで良かったです。  
(森田地区代表)

<もりたんバスについて>

担当は定正の■氏

1便 平均5人程利用している

問題点

- ・以前はバローを通ったが、今はアルビス発となっているので、バローの近所の方は使いにくくなっている。
- ・稲田からゲンキーに行こうとすると、ぐるっと回るので、最初の頃は珍しくていいなという意見もあったが、急ぐ時は困る。

## 9、介護保険制度改正の件

6年度は3年ごとに介護保険制度が代わる時であり、細かいことがいくつか義務付けられる。

- (例) ・BCP 災害があった時の対策
- ・虐待防止の規定
  - ・身体拘束の事
  - ・認知症の研修をすること 他

## 10、令和6年度 運営推進会議の日程

第1回	4/17	第4回	10/16
第2回	6/19	第5回	12/18
第3回	8/21	第6回	2/19

☆現在と同様、偶数月の第3水曜日 13時半で承認を得る。

## 11、その他

- 先日、高齢者の行方不明の内容のテレビが入っていました。  
物忘れもあるのに、その時気づいてあげられなかったと家族が後悔していると言われていました。  
現在、18,000人の行方不明者がいるが、行政の働きだけでは難しい。  
個人情報もあり難しいが、地域の協力が必要だと思います。 (楽家 管理者)
- 以前、認知症と思われる方を見かけ、安易に助けてあげようと思ったが、実際にはタクシーにも断られ、大変な思いをしてしまった。  
どうしたら良かったのでしょうか。 (森田地区代表)
- 認知症の方を見つけたら、警察に連絡するのが良いでしょう。  
地域の方が、気にして下さることが大切です。 (包括支援センター)

### 《包括支援センターより》

★ 6年度も、今まで通りの7人体制で活していきます。  
宜しくをお願いします。

★ 詐欺事件が多発しています。

※別紙参照

- ・ 北陸新幹線延伸に伴う犯罪
- ・ 電話による犯罪
- ・ 不審な訪問による犯罪 等

手口が巧妙で、高齢者だけでなく、若い人でも騙されてしまう。  
気をつけましょう。

## 12、まとめ

事務長よりお礼挨拶

本日も貴重なご意見ありがとうございました。

14時40分散会